



勝浦ロータリークラブ

50期 THE WEEKLY REPORTS

2012 - 2013年度

No. 11 / Total 2343
 例会：2012年10月5日
 発行：2012年10月12日

RI 会長	田中 作次
第2790地区ガバナー	得居 仁
第5分区ガバナー補佐	古市 一雄
第5分区幹事	島田 誠一
第2790地区地区委員 ロータリー財団委員会	関 一憲
勝浦RC	
新世代奉仕委員会	羽鳥 鋭一
鴨川RC	
勝浦ロータリークラブ 会 長	古川 範男
幹 事	中村 満
クラブ会報委員長	小林 悠紀
副委員長	渡邊 ヒロ子
委 員	渡邊 昌俊
	関 一憲

◆10月 5日(金)のプログラム

・ゲスト卓話

米山奨学生 国際武道大学4年
ホセ・ゴンザレス氏

◆10月の例会予定

【職業奉仕月間・米山月間】

・10月12日(金)

クラブフォーラム：職業奉仕委員会

会員卓話：小島幸雄会員

・10月19日(金)

地区大会21日(日)に振替

・10月26日(金) ゲスト卓話

50周年記念例会

ホテルブルーベリーヒル勝浦

●会長挨拶 古川範男会長



今月は「米山月間」ということで、この機会にといい、地区委員会から頂いた資料を読んだり、ロータリー情報集の「米山梅吉略伝」を読むなどして勉強をしました。結果として、米山梅吉という人はやはり大変な人物だった、ということが分かりました。三井信託を創立するなど三井グループの大立者であったばかりでなく、1920年に日本最初のロータリークラブである東京ロータリークラブを立ち上げています。何よりも、多くの人が「米山」という名の下に結集して動くという事実。これは凄いことです。爪の垢(あか)でも煎じて飲みたいという心境です。死して猶(なお)、人がその人のために動くということ、立場を変えれば「人を動かす」とはどういうことか。今日はこのことについて考えてみます。

「人を動かす」という思い出すのは、このタイトルの本です。アメリカの啓発家デール・カーネギーが1930年代に著した作品で、自己啓発書の元祖、永遠のベストセラーと言われております。英語ではHow to Influence People です。如何にしたら人に影響を与えることができるのか、について具体例を豊富に取りあげながら論じています。セールスマンや営業担当者の必読書です。私も新聞記者になりたての頃、特ダネが取りたくて、赤線を引きながら貪り読んだものです。取材相手を動かして秘密を語らせるにはどうしたら良いのか悩みました。

カーネギーによれば、人を動かすには3つの大きな原則があります。1つは「相手の批判、非難は決してしない」。人間、非難されて気持ちの良い人はいません。誰でも嫌なものです。自分の非は認めなければならないものです。これを多くの人の前でやったら最悪です。非難された人は恥をかかされたと思い、非難した人を憎みます。生涯敵にまわるかも知れません。ですから相手の良いところを見つけて、「盗人(ぬすつと)にも五分の利」の精神で臨むのです。そうすれば、逆に味方にできるという訳です。

2つ目は「相手に存在感をもたせる」ことです。「貴方がいたから〇〇できた」とか「貴方のおかげで――」という表現を使うん

ですね。そうすると、言われた方は「やっぱり俺がいなくちゃ」とか「そこまで言ってくれるか」となって、自分の存在の大きさを感じてジーンとくるわけです。「よーし、この人のためなら」とまできてきます。今はこけてしまいました。西武ライオンズが常勝球団だった頃、オーナーの堤義明氏は、選手に会うと必ず握手して「そうか、日本一になるピッチャーの手はやはり違うな」などと言っていました。この言動も選手にヤル気を起こさせる手段だったのかと思います。「叱るより褒め（ほ）めるが先ず褒め（ほ）め（め）る（し）つけ」とも言いません。子供だって褒めれば、どんどん勉強するし、その才能を伸ばせます。

3番目は「相手の立場で考える」ということです。自分のことばかり言っていると話し相手は辟易して、嫌われてしまいます。むしろ逆に相手に話させることが重要です。特に年配者になりますと、かつての自分の業績や思い出を話したくて、うずうずしていることが多いのですから、聞き上手になれば、相手は「良い聞き役が見つかった」と心中思います。きっとファンになってくれます。昔、私の後輩の記者で頭の良い記者がいました。ある時彼が取材から帰って自慢するんです。「3時間取材して2時間50分も相手の社長を説得しちゃいました」。私は叱りました。「君一体何をしに行ってきたの？聞き上手にならなくちゃ取材にならないよ」。

これらの3原則をきちんと実行すれば、どんな組織においても人を動かすことが出来るでしょうが、私はなかでも2番目の「相手に存在感をもたせる」ことが重要だと感じています。猿山の猿を見ていますと、猿を動かすものは欲望であり、ボスを恐怖することだと感じますが、人間は違います。存在感が無ければ組織で生きてはいけません。「豚もおだてれば木に登る」と言います。存在感が得られれば、ヤル気は遺憾なく発揮されます。

米山梅吉さんもきっと誠実で責任感のある人ただただでなく、「人を動かす」ことを心得ていたのだと想像します。人誑（たら）しだったでしょう。女誑（し）は困りますが、皆さんも是非、人誑（し）になって味方を増やし、ロータリーの会員を増やし、世の中を変えて頂きたいと思えます。

●幹事報告 中村満幹事

1. 国際大会推進委員会より 2012-13 年度国際大会のご案内 2013年6月23日～26日ポルトガルリスボンで開催されます。
2. 社団法人鴨川市観光協会の南房総無料化推進協議会より 房総スカイライン・鴨川有料道路無料化署名活動について感謝分が届いています。

●委員会報告

◆国際奉仕委員会 千葉正徳委員



ユタ州に留学中の齋藤麻里奈さんからメッセージが届きました。一ヶ月半経過しましたが慣れてきたようです。この文書を地区にも報告をしたところ地区の委員さんも安堵しているという事でした。

●ニコニコ BOX

○本人誕生日

◆村石愛二 君



10月2日で59歳になってしまいました。あと1年、50代を楽しみたいと思えます。

○自主申告

◆関正夫 君

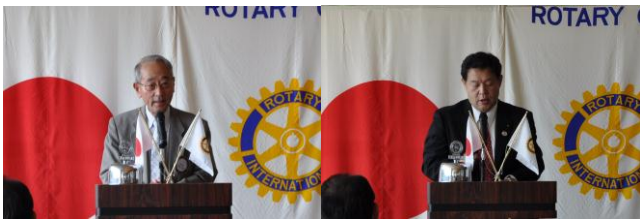


会長は北岳登というペンネームで本を書いているので、多分高い所へは登られていると思うのですが、私はそんなに高いところへは行きませんでした。高いところが見える北アルプスの穂高の麓の涸沢という紅葉の綺麗な所に女房と行ってきました。

穂高の山々に囲まれた素晴らしい所でした。今中高年の何とかブームで、ここにいらっしゃるロータリアンよりもさらに年齢の上と思われる方達がたくさん目指してまして、まだ負けられないと思えました。ただ山小屋は一つの布団に二人、とても寝ている様な状況でもないし、夜中にトイレに立たれる方がいると踏まれたりもしますし、朝飯も真っ暗な4時半とかで…その辺を我慢すれば皆さんもまだまだいけると思えます。非常に楽しんで行きました。

●本日のゲスト

地区米山記念奨学会 平野委員長(大原RC)



米山記念奨学会君塚委員長より卓話者の紹介
地区米山記念奨学会平野委員長(大原RC)より現在の地区の状況のお話がありました。

●卓話 米山奨学生 ホセ ゴンザレス 氏



私は、今年の米山記念奨学生の一人で、現在、国際武道大学で居合道クラブの主将を務めさせて頂いています。母国のメキシコで格闘技などに興味があり、その中でも刀に凄く憧れて、剣道と居合道の修業を始めました。本当の強さを探していた私には、武道をやりながら人を知り、友達が出来るとはとても素晴らしいことに思えました。武道をもっと深く理解するためには日本に行くべきだと判断し、2008年に日本に来ることになりました。最初は、別科生として一年間留学しました。日本語を勉強しながら剣道と居合道をやっていました。その一年間はとても面白く、続けて学びたいと思い翌年に国際武道大学体育学部武道学科に入学しました。

しかし、残念ながら一年生の時はとても辛いものでした。剣道部は確かに強かったのですが皆が自慢

し過ぎて偉そうに行動していて、周りの弱い人イジメをする事などがたくさんありました。結局、そこは私の居場所ではないと気づきました。剣道だけでなく居合道もやっていました。居合道クラブの皆は優しい人ばかりで、強い人もいて、私はそういうところに憧れました。先輩たちと仲良くなり、先生にもお世話になっていました。ある日先生は、私に「人の優しさは本物の強さだよ」と言われました。私の中ではとても正しく感じて、私にとって自分の居場所が見つかりました。

しかし三年生の時、様々な経済的な問題で大学の費用を払う事が出来なくなり、残念ながら学校を辞める事を考えなければならなくなりました。担当教員にその話をした時に「一緒に頑張りながら言い方法見つけよう」と言ってくださいました。そしてある日、先生は私にロータリー米山奨学金の話をしてくださいました。お世話になりながら奨学金の手続きや抽選を行い、幸いにも合格し、奨学金で進学する事が出来ました。私のために頑張ってくれた父の力になる事も出来て、苦しまないで生活出来るのは素晴らしい事です。

最初は、ロータリーの事をほとんど知らずに行動し始めました。しかし世話クラブの大原RCの方々は、私にとっても優しく接してくれ、色々教えてくれ、私の事に興味を持って理解しようとしてくれます。そのような中で、ロータリアンの気持ちが凄く伝えられ、とても感謝しています。

私はいろいろな人に愛されているので、幸せな人でいられます。だから私は、大きな人間になれると思います。私にとって、そのような気持ちにさせてくれた事は、ロータリーのとても大事な所です。この世の中は、人々の気持ちで少しずつより良いものになっていくのだと思います。それに対して感謝の気持ちを持ち、私もいろいろな人を幸せにしたいと考えています。

出席報告 10月5日(金)

出席委員会 前田安彦委員長

会員	出席	MU	欠席	出席率
35名	26名	7名	2名	94.29%